



雪を、五色沼ではまだ凍っていない部分の湖面の表情を捉えたりと、参加者の皆さんは前日とは違った冬景色を十分に堪能して帰路につきました。

― 日間で裏磐梯の冬景色を余すところなく堪能する ― 第七回写会はその言葉に相応しい内容となりました。新宿を15日の夜にバスで出発して裏磐梯に到着すると、そこはしんと雪が降る一面の銀世界。残念ながら日の出は見られなかったものの、日中は桧原湖西岸でハンノキに雪が付着した光景に出合えたり、桜峠では山肌一面に見事な霧氷が見られるなど冬の自然の美を満喫しました。

17日の早朝は、膝下まで埋まるほどの新雪に苦労しながらも朝景撮影へ。あいにく雲に阻まれ日の出は一瞬でしたが、日中は透き通るような青空が広がりました。新雪に青空という好条件を生かして、曾原湖ではカラマツなどの木立の長く伸びた影や木々に積もった

1/16



早朝の小野川湖では日の出が望めなかったため、近くの溪流を見下ろす橋へ移動しました。静かにとうとう流れる冬の溪流の風情もまたいいもの。雪が降っている中でも作品にしようという皆さんの熱気が伝わってくるようです。



見渡す限り見事な霧氷が一面に広がる桜峠。時折ガスもかかって、より幻想的な風景になることも。撮影時間が長かったので、皆さん十分に満喫できたのではないのでしょうか。この日の撮影はここで終了し、おいしい食事と温泉のある休暇村 裏磐梯へと向かいました。

Event Report

[講師]
米美知子



Schedule

15日(木)
22:00 新宿出発
16日(金)
小野川湖
8:30 朝食
桧原湖(細野)
12:15 昼食
桜峠
16:50 休暇村 裏磐梯 (チェックイン)
17日(土)
5:30 休暇村 裏磐梯
小野川湖
9:30 休暇村 裏磐梯 (チェックアウト)
曾原湖
五色沼
12:15 昼食
18:00 新宿到着

1/17



夜にかなりの雪が降ったため早朝の道路の除雪が間に合わず、秋元湖へは行くことができませんでした。このため前日と同じ小野川湖で朝景撮影を行うことに。日の出の時刻、太陽はこの一瞬だけ顔を覗かせました。



五色沼の毘沙門沼にて。ここも雪が多く降り積もっていたので、雪をかき分けて悪戦苦闘しながら撮影をしました。枯れ草についている小さな氷の塊がなんともユーモラスでした。



帽子、グローブ、スパッツ、アイゼンなど皆さんの防寒対策は万全です。しかし、これほど晴れるとサングラスも欲しいところです。



朝食後に向かった桧原湖西岸の細野で、ハンノキ林に雪が付着した美しい風景が見られたのでバスを停めて撮影をすることに。枝先には霧氷が付いている木もありました。(撮影/編集部)

Urabandai



宿をチェックアウトした後に向かった曾原湖は、ほとんどが雪に覆われていました。湖畔にはカラマツ林もあり、新雪に幹の影が伸びて美しい風景を描き出していました。(撮影/編集部)

「風景写真」WEB 講評会

「風景写真」主宰

第7回“写会”米美知子さんと行く冬の裏磐梯

1月15日(木) — 1月17日(土)

福島県北塩原村



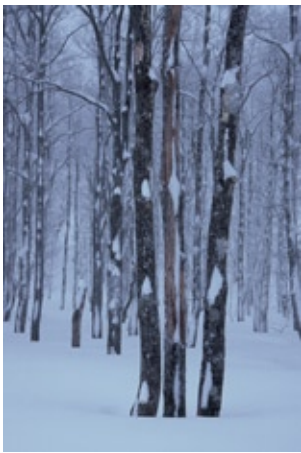
〔講評〕
米美知子

霧氷や新雪の風景など、裏磐梯の冬景色を思う存分堪能した第7回“写会”。

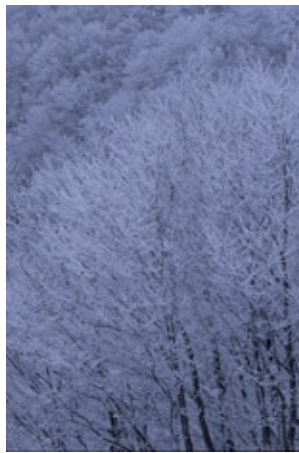
「風景写真」3-4月号誌上(083ページ)にてその様子をレポートしましたが、今回はWEB上にて参加者の皆さんが期間中に撮影された作品と講師の米さんの講評をご紹介します。

「風景写真」の撮影会では、皆さんが期間中に撮影した写真に対して、後日講師の講評を受けることができます。今後の撮影会のご案内は、トップページの「編集部からお知らせ」に掲載していますので、ぜひご確認ください！

樹物語 永田京子さん
細野地区のハンノキに付いた雪模様が魅力的です。手前三本の樹を主役にして、縦位置でうまくまとめられます。奥行き感もよく出ています。



無題 瀬野ヨシ子さん
桜峠の霧氷をスッキリと、無駄のないきれいなフレーミングで捉えました。細い枝に付く繊細な霧氷の表情もきちんと描写しています。

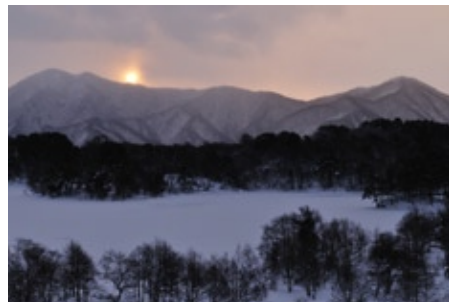


湖畔の朝 鈴木啓二郎さん
早朝の霏雨気がよく出ている作品です。小野川湖畔の特徴のある木をうまく使って作画していますね。手前の木と後ろの木の配置など、隅々まで気を配ってフレーミングしています。



影踊る 草苺幹夫さん

晴天ならではの影をうまく使った作品です。凍る湖面だけでなく、凍っていない水の部分も配したことで、変化のある表現になっています。



冬の朝 小山正弘さん

お立ち台からの小野川湖を、きれいなフレーミングで捉えています。山の上に一瞬だけ顔を見せた太陽も、いい位置に配しています。



マシュマロ発見! tiさん

タイトルも楽しく、まさにふわふわのマシュマロのようです。青空の映り込みが清々しく、流れの輝きを出したことで画面から動感も感じられます。



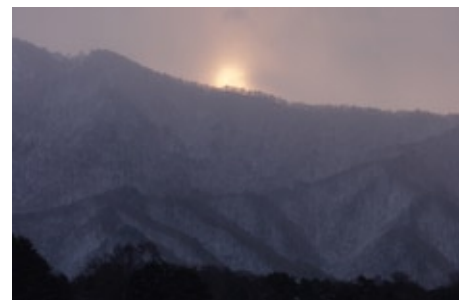
無題 澤井弘幸さん

晴天の曾原湖畔の清々しい光景を、バランスよくフレーミングしました。手前の水や上部に入れた木の枝なども効果的です。



湖紋 川島加代子さん

毘紗門池の美しい光景を、センスのいいフレーミングで捉えています。細い枯れ草に付いた羽のような氷と、雪の紋様との組み合わせが素敵です。



虚う朝日 写楽山水さん

ほんの一瞬だけ顔を出した朝日と雪山を、望遠レンズを使って上手に切り取っています。おぼろ月のような太陽が印象的な作品です。



無題 片山賢治さん

細いブナの木に付く繊細な霧氷を、無駄のないすっきりとしたフレーミングで切り取っています。幹の縦のラインを上手に活かした作品です。



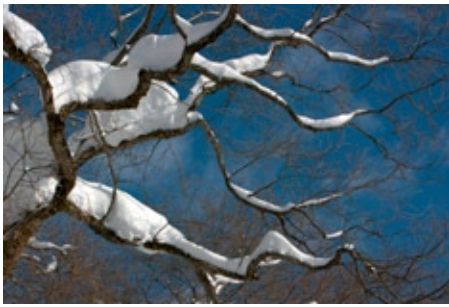
雪に舞う 朽名孝郎さん

桜峠の霧氷をうまくフレーミングしています。背景の幹が黒いことで、手前の白い霧氷を付けた枝がきれいに浮き上がって見えます。



無題 山爺さん

筋状に雪が付いたカラマツの幹と、美しい曲線の雪面を上手に組み合わせています。カラマツと雪面の画面配分もちょうどいいですね。



力こぶ自慢 和田美津子さん

ユーモアあふれる楽しいタイトルです。真っ青な空の下、力みなぎる木を主役にワイドレンズで迫力ある作品に仕上げました。



無題 村井文夫さん

晴れ間ならではの光景をうまく撮っています。カラマツの幹の縦模様と、雪面のストライプ(縞模様)の対比が面白いですね。



フルーティー 森千恵子さん

白い雪を背景に、赤い実を主役にしたことで色彩的に美しい作品になりました。背景のボケ具合もちょうどよく、タイトルも素敵です。

雪の上のブーケ 渡辺淳さん
アンサイと雪面に落ちるその影が、優しい印象を与える作品です。真っ白なキャンバスに描かれた美しい姿は、冬の晴れ間ならではの作品です。



urabandai